

令和8年度は、第六次大野市総合計画後期基本計画の初年度となります。物価高騰など厳しい状況の中でも、市民の暮らしを守り、女性や若者をはじめ、誰もがいきいきと幸せを実感できる大野市を目指し、必要な事業を着実に進める予算を編成しました。人材育成や公共施設の安全確保など、将来に向けた基盤づくりを進め、「住み続けたい結のまち」を市民とともに育んでいく一年としていきます。

「① 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上、② こどもや若者をまち全体で支える取組、③ 人づくりと人材確保、④ 安全・安心・快適な暮らしの確保、⑤ 脱炭素化の推進と気候変動への適応、⑥ 行財政運営の最適化の推進」を重点項目として、第六次大野市総合計画の将来像である「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現に向けて取り組みます。

〔重点項目〕

① 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上

令和11年春に予定する中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、人や物の流れや生活環境が変わることを想定し、産業ブランド力の強化や観光誘客の推進など、地域や事業者の稼ぐ力の向上に取り組みます。

② こどもや若者をまち全体で支える取組

まち全体がこどもや若者を応援し、未来の担い手として成長できるよう取り組みます。

③ 人づくりと人材確保

市民の自主性、主体性を育てるとともに、多様性を尊重し、あらゆる分野において、人材の育成と確保に取り組みます。

④ 安全・安心・快適な暮らしの確保

健康づくりの促進、地域共生社会の推進、道路の安全及び多様な移動手段の確保、防災力・防犯力の強化などにより、誰もが安全・安心で快適に暮らせるよう取り組みます。

⑤ 脱炭素化の推進と気候変動への適応

市民や事業者、行政が高い環境意識を共有し、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの地産地消や公共施設の脱炭素化、気候変動への適応策に取り組みます。

⑥ 行財政運営の最適化の推進

人口減少時代の中においても必要な行政サービスを維持するため、デジタル技術の活用による業務効率化、公共施設等の適正配置、市有財産の有効活用などに取り組みます。

【予算案の概要】

(単位:千円、%)

会計区分	8年度当初	7年度当初	増減額	増減率
一般会計	19,810,000	20,265,000	△455,000	△2.2
特別会計	7,920,812	7,926,379	△5,567	△0.1
企業会計	3,429,737	3,366,679	63,058	1.9
計	31,160,549	31,558,058	△397,509	△1.3

(1) 予算規模

- 一般会計は、本年度当初予算と比較して **2.2%減**の 198 億 1,000 万円となりました。

減額となった主な要因としては、ビュークリーンおくえつの基幹的設備改良工事が完了したことや、小中学校の施設改修工事を国の補正予算に伴い本年度に前倒しで予算を計上したため、当初予算ベースでの事業費が減額となったことなどによるものです。

新規事業は、第六次大野市総合計画基本構想の各分野で、ソフト事業を中心に 8 事業(うち6事業は「こども」分野)を立ち上げるとともに、既存事業にも新たな施策を加え、市民や団体、企業、行政など多様な主体が連携して取り組みを進めます。

ハード事業では、本年秋にオープン予定の(仮称)乾側地域交流センターの整備(旧乾側小学校等跡地活用事業)を進めるほか、国の補正予算に伴い、一部を本年度に前倒しする有終南小学校・富田小学校の施設改修(小中学校施設改修事業)などを実施します。

国の補正予算に伴い、有終南小学校・富田小学校の施設改修のほか、開成中学校・陽明中学校体育館の長寿命化改良工事および空調設備設置工事、上庄小学校・有終東小学校特別教室等の空調設備設置工事を本年度に前倒しで予算を計上し、整備を進めます。

歳入は、市税が個人市民税の増額見込などにより **0.9%増**の 39 億 7,221 万 8 千円、地方交付税は、経済・物価動向等を踏まえ **3.3%増**の 63 億円を見込んでいます。市債は建設事業費の減少等に伴い **34.7%減**の 11 億 9,240 万円となり、財政調整基金繰入金は本年度同額の 5 億円としています。

公債費(市債償還元金・利子)の増加には、減債基金を繰り入れて財源を確保するとともに、国・県の補助金や交付税措置のある有利な地方債を活用し、健全財政の維持に努めていきます。

- 特別会計は、本年度当初予算と比較して **0.1%減**の 79 億 2,081 万 2 千円、企業会計は、**1.9%増**の 34 億 2,973 万 7 千円となりました。
- 全会計の総計は、本年度当初予算と比較して **1.3%減**の 311 億 6,054 万 9 千円となりました。

(2)主な事業

00

後期基本計画を推進する取組

しあわせ未来共創事業 464万円

3BP
掲載

行政経営

第六次大野市総合計画の将来像実現に向けた各種施策の推進に取り組みます

【新】市民の「ウェルビーイング」向上につながる施策の検討や講演会の開催

01

高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上

令和11年春に予定する中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、人や物の流れや生活環境が変わることを想定し、産業ブランド力の強化や観光誘客の推進など、地域や事業者の稼ぐ力の向上に取り組む

稼ぐ力応援事業 1,248万円

2BP
掲載

地域経済

新しいビジネスの創出、商品の高付加価値化などに取り組む事業者を支援します

【新】越前おおのブランドの活用、商店街等の活性化によるまちなかのにぎわい創出などによる地域経済の活性化を目的として地域資源や市の産業の魅力を発信するイベント開催を支援

稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業補助 274万円

2BP
掲載

地域経済

地域資源を生かした観光地の魅力向上を支援します

【新】雪や星空、名水など大野ならではの地域資源を生かした観光客向けの魅力あるコンテンツを開発する事業者を支援

観光地魅力向上事業 1,025万円

27P
掲載

地域経済

観光地としての魅力を高めるため、各種キャンペーンや事業者支援に取り組みます

【新】観光客にまちなかを周遊してもらうため、団体ツアー客を対象として、お買物券付き専用マップなどを提供する「越前おおの ぶらり城下町散策」を実施

日本一の星空発信事業 289万円

27P
掲載

地域経済

福井工業大学などと連携して、日本一の星空の観光活用を推進します

【新】星空写真素材を募集して、PR素材を収集

インバウンド誘客促進事業 236万円

2BP
掲載

地域経済

外国人観光客の誘客促進に取り組みます

【臨】外国人に対して円滑に接客対応するため、翻訳機能を備えたタブレット端末を購入

ふるさと納税推進事業 1億8,383万円

2BP
掲載

地域経済

ふるさと納税を推進し、市の特産品などのPRと寄附額増加を図ります

【新】地域振興と寄附額増加の好循環をつくるため、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで集まった資金をもとに、返礼品提供事業者に対して生産力向上につながる設備投資などを補助

こどもや若者をまち全体で支える取組

まち全体がこどもや若者を応援し、未来の担い手として成長できるよう取り組む

【新規】若者交流拡大促進事業 191万円

18P
掲載

こども

若者グループが企画する若者交流拡大イベントを支援します

子育てにやさしいまち大野情報発信強化事業 68万円

17P
掲載

こども

「暮らしやすさ」「保育環境」「教育」「仕事と家庭の両立」といった本市の魅力を発信します

【臨】若者・女性・移住者の視点を取り入れた結婚・子育てプロモーション冊子を制作

子ども医療費助成事業 1億1,923万円

17P
掲載

こども

20歳までの医療費の自己負担を助成します。(窓口完全無料化)

※19～20歳は県内の大学・専門学校などへ通学する学生対象

【新規】低所得世帯の大学受験等支援事業補助 165万円

18P
掲載

こども

低所得世帯などに対して大学等受験料や模擬試験受験料の一部を助成します

小中学校施設改修事業 3億9,063万円

19P
掲載

こども

小中学校の学習環境改善のため改修工事などを行います

※令和7年度3月補正予算にて、12億2,358万円の事業費を前倒しで追加計上

(有終南小・富田小の改修、開成中・陽明中の体育館の長寿命化改修、空調整備など)

【新規】学校司書配置事業 208万円

19P
掲載

こども

学校図書館の運営と読書教育の充実のため、小中学校に学校司書を配置します

【新規】みんなが喜ぶおいしい給食事業 1億7,561万円

21P
掲載

こども

これからも安全・安心で質が高くおいしい給食を子どもたちに提供するため、小学校の給食費の完全無償化と小中学校の公会計化を行います

3人っ子給食費助成事業(中学校) 637万円

21P
掲載

こども

中学校の第3子以降の給食費を助成します

【新規】ふるさとおおのジョブ探求事業 72万円

26P
掲載

地域経済

地元企業で働く社会人を講師として招き、高校生が地域の仕事を知り、将来の選択として大野で働くことを意識できるプログラムを開催します

市民の自主性、主体性を育てるとともに、多様性を尊重し、あらゆる分野において、人材の育成と確保に取り組む

市民協働による住民自治の推進 1,580万円

35P
掲載

地域づくり

「市民協働によるこれからの住民自治の方針」に基づき住民自治を推進します

・地域の活性化や住民の交流、課題解決に向けた取組を支援 1,547万円

(結の故郷地域が輝く交付金事業)

【臨】 市民協働による住民自治推進のためのアドバイザー経費 33万円 (地域振興事務経費)

地域おこし協力隊事業 4,294万円

35P
掲載

地域づくり

都市部の人材を地域おこし協力隊員として委嘱し、地域協力活動を支援します

【新】 隊員が退任後に大野に住み続け、または関係人口として関わり続けるためのつながりや受け皿となる大野市地域おこし協力隊ネットワーク (仮称) を構築

来て見て住んで応援事業 1,452万円

35P
掲載

地域づくり

移住定住に関する情報発信や移住希望者および移住者への支援を行います

【拡】 移住を検討する方などからのアクションを促すため、移住定住応援サイト「大野へかえろう」をPRするウェブ広告を拡充

旧乾側小学校等跡地活用事業 2億9,753万円

35P
掲載

地域づくり

旧乾側小学校等跡地を活用し、(仮称)乾側地域交流センターを整備します

※令和8年秋のオープンを予定

男女共同参画プラン推進事業 62万円

37P
掲載

地域づくり

男女共同参画を推進するため、市民への啓発・研修事業を実施します

【新】 幅広い世代や親子が気軽に参加できる男女共同参画の啓発イベントを開催

ICT利活用推進事業 267万円

39P
掲載

行政経営

コンピュータやインターネットなど情報通信技術の利活用を進めます

【新】 高齢者などがスマホの相談ができる「スマホYUIサポーター」として、地域の人材を育成

消防団運営経費 189万円

37P
掲載

地域づくり

研修や訓練などを実施し、適正な消防団の運営を行います

【新】 消防団車両を運転できるよう、消防団員の準中型自動車運転免許などの取得に対して補助

【新規】文化活動の環境づくり事業 936万円

35P
掲載

地域づくり

文化活動の場として既存施設の環境整備に取り組みます

安全・安心・快適な暮らしの確保

健康づくりの促進、地域共生社会の推進、道路の安全及び多様な移動手段の確保、防災力・防犯力の強化などにより、誰もが安全・安心で快適に暮らせるよう取り組む

各種大会開催事業 492万円

24P
掲載

健幸福祉

スキー大会、相撲選手権、駅伝大会など各種スポーツイベントを開催します

【新】スポーツ・レクリエーション祭をリニューアルした「大野市スポーツフェスティバル（仮称）」を開催

地域生活支援事業 5,628万円

22P
掲載

健幸福祉

障がいのある方をサポートする各種サービスを提供します

【新】・基幹相談支援センター（障がい者相談支援体制を強化する地域の総合的な窓口）を設置

・障がいのある方などが気軽に相談や交流ができる居場所を創出（毎月開催）

健康づくり応援事業 2,081万円

23P
掲載

健幸福祉

歩くことを通じた健康づくりとして、ヘルスウォーキングプログラムを実施します

市内路線バス等運行事業 8,218万円

33P
掲載

くらし環境

まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バスを運行します

【臨】より良い公共交通体系の方向性を検討するための調査分析

地域で支える越美北線事業 660万円

33P
掲載

くらし環境

越美北線の乗車券購入助成や沿線の美化活動を行います

【拡】定期乗車券および回数券の助成率を50%に引き上げ

防災対策経費 1,138万円

36P
掲載

地域づくり

災害予防対策に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します

【臨】・大野市総合防災マップを改訂

・県総合防災訓練と市総合防災訓練を合同で開催

防災資機材整備事業 241万円

36P
掲載

地域づくり

災害時に必要な備蓄品を整備します

【新】地区と避難所を提供する協定を締結した企業の防災資機材の整備に対して補助

空家等対策事業 694万円

36P
掲載

地域づくり

適切な管理がされていない空家への対策や予防に取り組みます

【新】特定空家等に加え、管理不全空家等（適切な管理がされていないことで、放置すれば特定空家等に該当する恐れのある状態の空家）を新たに認定し、状況改善のための助言や指導を実施

鳥獣害のない里づくり推進事業 4,305万円

28P
掲載

地域経済

有害鳥獣の捕獲や被害防止対策に取り組みます

【拡】クマ出没対応に係る実施隊への報酬単価を引き上げ

市民や事業者、行政が高い環境意識を共有し、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの地産地消や公共施設の脱炭素化、気候変動への適応策に取り組む

ゼロカーボン推進事業 188万円

31P
掲載

くらし環境

事業所や家庭などを対象とした脱炭素化の啓発に取り組みます

【臨】 おおの環境フェアにおいてイベント向けCO₂フリー電気（再生可能エネルギーなどによるCO₂排出量を実質的にゼロにした電気）を活用

【臨時】 公用車をハイブリッド車に更新 1,022万円

39P
掲載

行政経営 など

公用車をストロングハイブリッド車（エンジンとモーターの両方で単独走行が可能な、走行時のCO₂排出量を低減できる環境性能の高い車両）に更新します
（一般会計3台、特別会計1台）

公共施設LED照明導入業務 債務負担行為(R9~R18)2,241万円

39P
掲載

市内11施設の照明を新たにLED化します（財産管理事務経費）

行政経営

（再掲） 旧乾側小学校等跡地活用事業 2億9,753万円

35P
掲載

地域づくり

旧乾側小学校等跡地を活用し、（仮称）乾側地域交流センターを整備します

【臨】 建築物の環境配慮（省エネ、脱炭素）の取組を見える化するため、エネルギー消費性能を第三者が評価する「BELS」を市の施設で初めて申請

（再掲） 小中学校の空調整備

こども

※令和7年度3月補正予算にて、2億4,562万円の事業費を前倒しで追加計上
（開成中・陽明中の体育館および有終東小・上庄小の特別教室等の空調整備）

【新規】 自然共生推進事業 69万円

31P
掲載

くらし環境

自然や生物とのふれあいを通して自然と共生する意識の醸成に取り組みます

【臨】 本願清水イトヨの里の「自然共生サイト」（生物多様性保全の活動計画が国に認定された区域）の認定に向けた取組

行財政運営の最適化の推進

人口減少時代の中においても必要な行政サービスを維持するため、デジタル技術の活用による業務効率化、公共施設等の適正配置、市有財産の有効活用などに取り組む

【臨時】公金収納のデジタル化 172万円

39P
掲載

行政経営

公金収納のデジタル化（公金をスマホやパソコンなどで支払い可能にする）を推進します
（市税は導入済）（事務統合システム経費）

行政連絡事務嘱託員経費 2,910万円

35P
掲載

地域づくり

各行政区の区長に行政連絡事務を委嘱し、円滑な市政運営を図ります

【臨】 配布物のデジタル化による市民の利便性向上や区長の行政連絡事務の負担軽減のため、電子回覧板の実証実験を実施（ゼロ予算）